

明日香村公営駐車場等運用体制構築事業に係るパートナーシップ企業選定 審査項目及び審査基準

大項目	中項目・着眼点	評価の具体的な着眼点（審査の視点）	配点	ウェイト	評価尺度・採点方針（ルール）
1. 基本事項・事業理解	事業趣旨・現状課題の理解	・ 明日香村の歴史的・観光的背景、世界遺産登録を見据えた来訪者増加及びオーバーツーリズム（混雑・渋滞）等の現状課題を正確に把握しているか。 ・ 本事業の4つの目的（財政基盤構築、利便性向上、渋滞緩和、データ駆動型観光政策）を十分に理解した提案となっているか。	10	10%	【定性評価】 S(10点): 課題と目的を極めて深く把握し最適提案 A(8点): 十分理解している B(6点): 平均的理解 C(4点): 一部理解不足 D(2点): 不十分
2. 事業スキーム及び財務提案	2-1. 共通モデルでの財務貢献度（客観定量評価：20点）	・ 【客観定量比較指標】村が指定する共通モデル（年間想定台数：22,000台/年、基準単価：500円/台、基準年間売上：1,100万円/年）を前提とした場合において、年間システム対価（イニシャルコスト平準化分含む）が適正に抑えられ、『村の年間実質純収益（1,100万円/年－年間システム対価）』が客観的に最大化されているか。 ・ 提案された対価スキーム（定額/売上連動/ハイブリッド）の内訳・算定根拠が明確かつ合理的か。	20	30%	【定量絶対比率計算式による自動採点】 評価点＝20点×（該当事業者の「村の年間実質純収益」÷応募全事業者中の最高「村の年間実質純収益」） ※計算結果は小数点第2位以下四捨五入。実質純収益が0円以下（村の持ち出し）の場合は0点とする。
	2-2. 独自増収施策の実現性（定性加点評価：10点）	・ 共通モデル（1,100万円/年）とは別に、事業者独自の需要創出策（ダイナミックプライシングの設定、予約枠の活用、イベント連携等）による「上乗せ増収見込み」について、その試算根拠が論理的で実現性が高いか。 ・ 単なる楽観的な予測に依存しておらず、初期投資回収や長期の維持管理・安定運営の計画に無理がないか。	10		【定性評価】 S(10点): 増収策のロジックが極めて緻密で納得度・実現性が高い A(8点): 妥当性が高い B(6点): 標準的 C(4点): 根拠がやや不十分 D(2点): 非現実的・根拠なし
3. システム先進性・利便性・誘導性	3-1. カメラ式管理・キャッシュレス	・ 車番認識カメラによるゲートレス・フラップレス管理機能の精度・安定性が高いか。 ・ クレジットカード、電子マネー、QR、交通系IC等、多角的なキャッシュレス決済がシームレスに機能するか。	10	20%	【定性評価】 S(10点): DX機能が極めて先進的かつ確実 A(8点): 十分な機能を保有 B(6点): 標準的仕様 C(4点): 一部機能不足 D(2点): 不十分
	3-2. 視認性・誘導性・予約・多言語	・ ドライバーや歩行者が迷わずスムーズに出入庫できるよう、現地サイン等の『高い視認性』及び『円滑な案内・誘導性』が高度に確保されているか。 ・ 事前予約（一般車/観光バス/15分乗降枠）、ダイナミックプライシング対応、WEBリアルタイム満空配信（1～3分更新）、多言語（5言語以上）対応が具体的に提案されているか。	10		【定性評価】 S(10点): 視認性・誘導性・TDM機能が極めて高い A(8点): 要件をクリアし実効的 B(6点): 標準的 C(4点): 一部機能制限あり D(2点): 実用性に疑義
4. 景観配慮・光害対策	4-1. 環境省E1基準・輝度・消灯制御	・ 環境省「光害対策ガイドライン」光環境類型E1（本質的に暗く保つ地域）基準に適合しているか。 ・ 自発光機器（サイネージ等）を採用する場合の夜間輝度50cd/m ² 以下制御及び深夜完全消灯（0cd/m ² ）、あるいはアナログ看板等に外部照明（スポットライト等）を当てる場合の適切な照度・自動消灯制御がプログラミング設計されているか。	10	20%	【定性評価】 S(10点): E1基準完全準拠＋自動調光・消灯設計が完璧 A(8点): E1基準を満たす B(6点): 標準的配慮 C(4点): 一部不備あり D(2点): 景観・光害懸念あり
	4-2. 景観調和とサイン手法の工夫	・ 【手法の柔軟性】特定技術や素材に限定せず、明日香村の歴史的風土に完全に溶け込むデザインとなっているか。 ・ 上方光束比（ULR）0.0%、相関色温度3,000K以下（暖色系）、黒背景（ダークモード）を徹底し、アナログ看板、電子ペーパー、スマートサイネージ、Web連携等、手法を問わず『景観保全』と『夜間の高い視認性・誘導性』が高次元で両立されているか。	10		【定性評価】 S(10点): アナログ/デジタル問わず、景観調和と誘導性の両立提案が極めて秀逸 A(8点): 景観調和基準を完全クリア B(6点): 基本的な配慮 C(4点): 配慮不足 D(2点): 不適格

5. 業務実施体制及びBCP・実績	5-1. 24/365体制・BCP・緊急対応 (定性評価：6点)	・24時間365日緊急対応体制（電話・駆けつけ・現地対応連携）の実効性及び信頼性が高いか。 ・停電・通信障害・自然災害時等のBCP計画（手動開放、非常用電源、避難スペース協力等）及びEV充電設備等の脱炭素提案の実現性を総合評価する。	6	10%	【定性評価】 S(6.0点): 24/365体制・現場連携・BCP計画・EV提案が極めて秀逸 A(4.8点): 十分な体制とBCP計画が示されている B(3.6点): 標準的な体制 C(2.4点): 体制・計画にやや不安あり D(1.2点): 不十分
	5-2. 業務実績（同種・類似実績） (客観絶対評価：4点)	・過去5年以内における時間貸有料駐車場の受託実績について、実績分類に応じた絶対評価を行う。 - 同種業務：国・自治体等との官民連携/PPP/PFI、指定管理者制度、パートナーシップ協定等に基づく公営駐車場構築・運営実績 - 類似業務：時間貸有料駐車場の管理運営実績	4		【受託実績に応じた客観絶対採点】 ・4点：同種業務の実績を有している場合 ・2点：類似業務の実績のみを有している場合
6. 地域貢献・CSR・データ活用	回遊性・CSR(女性活躍等)・データ	・村内複数駐車場や観光施設・商店等との連携による地域回遊性向上策（料金減免等）が提案されているか。 ・駐車場利用データの定期共有・オープンデータ化体制、および観光・交通政策（EBPM）への専門的提言能力を有しているか。 ・【CSR・SDGs評価】女性活躍推進（「えるぼし」「くるみん」等の認定取得、働き方改革等）、バリアフリー・ユニバーサルデザイン配慮への取り組みがなされているか。	10	10%	【定性評価】 S(10点): 地域回遊・データ提言・CSR（女性活躍推進等）の取組が極めて優秀 A(8点): 具体的に効果的な提案 B(6点): 標準的 C(4点): 内容が希薄 D(2点): 提案なし
合計	全6大項目（8細項目） / 総合評価配点		100点	100%	※最高得点者を優先交渉権者（協定締結候補者）として選定（100点満点評価）